

大 使 館 情 報

2016年7月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（6月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

内政

- (1) 新透明性監察監督大臣の就任
- (2) 弾劾プロセスの前倒し案の却下
- (3) カリエイロス上院議長等の PMDB 重鎮への逮捕請求
- (4) ルーラ前大統領の動向
- (5) クーニャ下院議長の議員資格剥奪の動向
- (6) テメル大統領代行の汚職疑惑
- (7) 観光大臣の辞職
- (8) クーニャ下院議長の起訴状受理
- (9) ベルナルド元大臣の逮捕
- (10) 弾劾プロセスの日程変更
- (11) ルセーフ大統領の「不正会計処理」問題

外交

- (1) セーハ外務大臣のOECD閣僚理事会及びWTO非公式閣僚会合への出席
- (2) ベネズエラ情勢関連
- (3) ロイサガ・パラグアイ外務大臣の訪伯
- (4) ペルー大統領選挙
- (5) コロンビア政府・FARC間の停戦合意
- (6) イスタンブール・アタチュルク空港でのテロ

3. トピックス

- (1) ハイブリッド技術紹介イベントの開催
- (2) 平成28年春の叙勲
- (3) 第2回自衛隊記念日レセプションの開催
- (4) 梅田大使のブラジル日本商工会議所懇親昼食会出席
- (5) サンパウロにおけるジャパン・ハウス第三回運営委員会の開催（在サンパウロ総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) ブラジル渡航情報

※大使館情報の最近のバックナンバーを大使館ホームページに掲載していますのでそちらも御覧ください（在ブラジル日本大使館 www.br.emb-japan.go.jp）。

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等（6月発表の経済指標）

- (ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に基づく経済成長予測に関し、6月24日時点では、本年の経済成長率は▲3.44%で先週から横ばい、明年の経済成長率は1.00%とされた。また、本年のインフレ率見通しは7.29%で6週連続の上方修正、明年のインフレ率見通しは5.50%とされた。
- (イ) 5月の拡大消費者物価指数(IPCA)は単月で0.78%となり、前月の0.61%から上昇し、2か月連続の上昇となった。居住費が+1.79%、食料・飲料費が+0.78%、保健・衛生費が+1.62%となったことが寄与した。また、本年当初からの累計で4.05%、12か月累計で9.32%の上昇となり、依然として政府のインフレ目標の上限である6.5%を上回る水準となっている。
- (ウ) 4月の鉱工業生産指数は、前年同月比▲7.2%で26か月連続のマイナス、前月比では+0.1%となり、2か月連続のプラスとなった。
- (エ) 5月の貿易収支は、輸出額は175.71億ドル（前年同月比+4.8%、前月比+14.3%）、輸入額は111.34億ドル（前年同月比▲20.5%、前月比+5.9%）で、差し引き64.37億ドルで15か月連続の貿易黒字となり、5月としては過去最高の黒字額を記録した。
- (オ) 4月の小売売上高は、前年同月比▲6.7%で13か月連続のマイナス、前月比では+0.5%となり、2か月ぶりにプラスとなった。
- (カ) 全国の失業率（3～5月の移動平均）は11.2%となり、前回の公表値（2～4月の移動平均）から横ばいであった。

(2) 経済政策等

- (ア) 6月7日、キンテラ運輸・港湾・民間航空大臣は、交通分野のコンセッション入札に参加する投資家に対して、より大きなリターンを保証するよう準備を行っている旨発言した。同大臣によると、投資家の関心を引くため、入札計画は再構築され、新たな政策パッケージが発表されることとなる。
- (イ) 6月14日、伯財務省は、公的機関全体の歳出額の上限を前年の歳出額に前年のインフレ率を加味した金額とする憲法修正案を発表した。
- (ウ) 6月24日、伯財務省は、英国のEU離脱(Brexit)を問う国民投票で離脱派勝利の結果を受けて、伯は十分な外貨準備高を有しており、経済状況は堅固で安全である等コメントしたプレスリリースを発出した。
- (エ) 6月29日、メイレス財務大臣は、2017年度のプライマリーバランス目標は本年度に続いて赤字となり、成長のために上限を設ける歳出のみならず、歳入に関する現実的な見直しも考慮されると発言した。

(3) 中銀の金融政策等

- (ア) 6月8日、ブラジル中銀の通貨政策委員会(Copom)は、政策金利(Selic)を14.25%に据え置く旨を全会一致で決定した。なお、政策金利を据え置く決定は7会合連続となった。

- (イ) 6月8日、ゴールドファイン氏の中銀総裁就任が連邦議会上院において正式に承認された。
- (ウ) 6月13日、ゴールドファイン中銀総裁は、総裁就任演説において、これまで実施されてきた、いわゆる新3本柱（拡張的な財政政策、低利融資による貸付け拡大、中銀の介入を伴う為替相場）から、かつての3本柱である、プライマリーバランス黒字目標、インフレターゲット、自由な為替相場に戻すべきであるという点は事実上コンセンサスとなっており、それによって遠くない将来に、ブラジルの経済は回復し、社会は発展すると語った。
- (エ) 6月29日、中銀は四半期インフレ報告書を発表し、基本シナリオ（為替レート：1ドル＝3.45レアル、政策金利（Selic）：14.25%）に基づく本年のインフレ率は6.9%、明年は4.7%、2018年第2四半期は4.2%になるとし、GDP成長率については、本年は▲3.3%と予測しており、前回3月の報告書による見通しから0.2%上方修正した。
- (オ) 6月30日、国家通貨審議会（注：財務大臣（議長）、企画予算大臣及び中銀総裁で構成される金融システムに関する国の最高機関）は、2018年度の政府のインフレ目標を従来通り4.5%にするとともに、目標レンジを2017年度と同様に±1.5%に設定すると決定した。

（４）為替市場

- (ア) 6月のドル・レアル為替相場は、前半は米国の早期利上げ観測の後退、後半はBrexitを問う国民投票を主な取引材料として、乱高下しつつも大幅なドル安・レアル高が進行する流れとなった。
- (イ) 月の前半は、予想比で弱い米国の雇用統計を受けて早期利上げの観測が後退したことに加え、正式に中銀総裁に就任したゴールドファイン氏が為替介入に消極的との見方が広がったことから、8日には1ドル＝3.3レアル台まで一気にドル安・レアル高が進行した。その後は、23日のBrexitを問う国民投票を控えて世界的にリスクオフの動きが強まり、1ドル＝3.5レアル近くまでレアル安が進行した。
- (ウ) 月の後半は、英国のEU残留期待が強まり、世界的にリスクオンの流れになったことから、再びドル安・レアル高が進行した。その後は、Brexitを問う国民投票で離脱派勝利の結果を受け、全面的なリスクオフの流れの中でもレアルの下落はわずかにとどまり、月末にかけては米国の早期利上げ観測がさらに後退したことから、急速なドル安・レアル高が進行した。月末は1ドル＝3.2130レアルで取引を終えた（前月比▲11.0%のドル安・レアル高）。

（５）株式市場

- (ア) 6月のブラジルの株式相場（Ibovespa 指数）は、米国の早期利上げ観測の後退やBrexitを問う国民投票等を主な取引材料として、乱高下しつつも上昇基調の値動きとなった。
- (イ) 月の前半は、米国の早期利上げ観測が後退したことが好感され、株価は50,000ポイントを回復した。その後は、Brexitを問う国民投票を控えてリスクオフの流れが強まり、株価は一時48,000台まで下落した。

- (ウ) 月の後半は、英国のEU残留期待が強まったことに加えて、政府による財政再建の取組等が好感され、株価は上昇基調となった。その後、Brexitを問う国民投票で離脱派勝利の結果を受けて世界同時株安の展開となり、株価は一時50,000ポイントを割ったものの、月末にかけては買戻しの動きが強まり、原油価格の上昇も好感され株価は堅調に推移した。月末の株価は51,527ポイントとなり、前月比+6.3%の上昇となった。

2. ブラジル政治情勢

【内政】

(1) 新透明性監察監督大臣の就任

- (ア) 2日、ペトロbras汚職事件捜査を批判した等の理由により辞任したシルヴェイラ大臣の後任として、トルクアト・ロレナ・ジャルディン氏の透明性監察監督大臣就任が発表された。
- (イ) 同新大臣は政治家出身ではなく、これまでに選挙高等裁判所判事、ブラジリア連邦大学法学部教授等を歴任している。

(2) 弾劾プロセスの前倒し案の却下

- (ア) 6日、上院特別委員会は、弾劾裁判に向けた今後のプロセスに係る審理を行い、前回委員会で与党委員が提示した前倒し案を却下し、当初案を採用することを決定した。
- (イ) 同決定により、意見書の本会議での表決は8月1～2日に実施される見通しとなった。その場合、ルセーフ大統領の弾劾に係る最終表決が弾劾法廷で実施される日程は、8月16日頃になる見通しとなった。但し、今後の進捗の中で、弾劾プロセスが更にずれ込むこともあり得る。

(3) カリエイロス上院議長等のPMDB重鎮への逮捕請求

- (ア) 6日、ジャノー連邦検事総長は、連邦最高裁判所(STF)に対し、汚職事件捜査に対する妨害を企てた容疑により、カリエイロス上院議長(伯民主運動党(PMDB))、ジュカー上院議員(前予算企画大臣、PMDB)及びサルネイ上院議員(元大統領、PMDB)の逮捕請求及び解任請求を行った。連邦検事総長が、現職上院議長の逮捕請求及び解任請求を行うのは史上初。
- (イ) 14日、ザヴァスキ STF 判事は、今回のカリエイロス上院議長らの逮捕請求を棄却するとともに、これら議員の自宅及び事務所に対する家宅搜索請求も棄却した。同判事は、棄却の理由について、同議員らの容疑(汚職事件捜査の妨害)は現行犯とは認められないと説明した(注: ブラジル憲法は、連邦議員の逮捕は原則として現行犯の場合にのみ認められる旨規定)。

(4) ルーラ前大統領の動向

- (ア) ジャノー連邦検事総長は、連邦最高裁でしか裁かれない特権を喪失したルーラ前大統領に関する裁判は、クリチバ連邦裁判所で行われるべきであるとして、ザヴァスキ STF

- 判事に対し、同前大統領に対する起訴状をクリチバ連邦裁判所に送付するよう求めた。
- (イ) これを受け、同判事は13日、ルーラ前大統領の汚職等に係る捜査を、同連邦裁判所のモロ判事に委ねる旨決定した。

(5) クーニャ下院議長の議員資格剥奪の動向

- (ア) 14日、下院倫理委員会は、クーニャ下院議長の議員資格剥奪を求める報告について表決を行った。
- (イ) その結果、賛成11票、反対9票となり、議員資格剥奪案が本会議に上程されることとなった。

(6) テメル大統領代行の汚職疑惑

- (ア) 15～16日、ブラジル主要メディアは、司法取引に応じたマシャード元トランスペトロ（ペトロbras子会社）社長が、賄賂や同社から不正に横領された資金がどの政治家に渡ったか等につき供述した内容が明らかとなったと一斉に報じた。
- (イ) 同元社長は、20名以上の政治家の名前を挙げ、その中では、党所属の政治家への150万リアル（約4500万円）の選挙資金の提供を要求されたとして、テメル大統領代行の名前も出された。

(7) 観光大臣の辞職

- (ア) 16日夜、アルヴェス観光大臣は、マシャード元ペトロbras子会社社長の供述において、収賄行為を指摘されたことを受け、辞表を提出した。5月12日に発足したテメル暫定政権において、3人目の大臣の辞職となった。
- (イ) 同大臣は、自らの汚職疑惑については否定しているが、テメル暫定政権に迷惑を掛けられないと述べ、辞意を表明した。

(8) クーニャ下院議長の起訴状受理

- (ア) 22日、連邦最高裁判所は、クーニャ下院議長に対する起訴状を全会一致で受理した。11人の判事全員が、同議長がスイスに未申告の銀行口座を保有していると認めるに十分な根拠があると判断した。
- (イ) 同口座には、同議長が2010年から2011年にかけて受け取ったとされる賄賂（528万リアル、約1億6,000万円）が貯蓄されている模様。同議長に対する起訴の受理は今回が2件目。

(9) ベルナルド元大臣の逮捕

- (ア) 23日、連邦警察は、ルーラ第二期政権で企画予算大臣、また、ルセーフ第一期政権で通信大臣を務めたパウロ・ベルナルド元下院議員（PT）を、汚職容疑により逮捕した。
- (イ) 元大臣は、ペトロbras汚職事件から得た賄賂を、妻のホフマン上院議員（PT）の選挙資金に充当した疑いがあり、同上院議員とあわせ、本5月に検事総長から最高裁に起訴状が提出されていた。

(10) 弾劾プロセスの日程変更

- (ア) 22 日、上院特別委員会は、ルセーフ大統領側の証人喚問に時間を要している等の理由から、弾劾プロセスの後ろ倒しを決定した。
- (イ) これにより、弾劾法廷での最終の表決は、リオ・オリンピック閉会式後の 8 月 22～26 日の週に実施される可能性が高くなった。

(11) ルセーフ大統領の「不正会計処理」問題

- (ア) 30 日、連邦会計検査院 (TCU) は、2015 年度予算決算についての審理結果を公表し、ルセーフ政権は、2015 年、ブラジル銀行及び国家経済社会開発銀行 (BNDES) に肩代わりさせた、予算支出の利払いに対する国庫からの返済を遅滞させていた、これは財政責任法にも抵触すると結論付けた。
- (イ) TCU は、また、こうした財政操作の責任は、当時のレヴィ財務大臣及びバルボーザ企画予算大臣、両省及び都市省の一部幹部にもあるほか、中銀の局長 3 名には、財政関連統計から「不正会計処理」に相当する部分を脱落させていた責任が認められるとした。

【外交】

(1) セーハ外務大臣の OECD 閣僚理事会及び WTO 非公式閣僚会合への出席

- (ア) 2 日、セーハ外務大臣は、フランスで行われた OECD 閣僚理事会及び WTO 非公式閣僚会合に出席し、各会合においてスピーチを行った。
- (イ) これらの会合に先立ち、同大臣は 5 月 31 日、パリで開催された仏政府主催イベント「ラテン・アメリカカリブ週間」記念レセプションにパチェレ・チリ大統領、ウマラ・ペルー大統領等と共に出席し、オランド・フランス大統領と立ち話を行うと共に、エロー仏外相と会談を行った。

(2) ベネズエラ情勢関連

- (ア) 6 日、ブラジル外務省は、ベネズエラ情勢に関して懸念を表明すると共に、同国政府と反対勢力間の理解促進のためのイニシアティブへの支持に加え、ベネズエラ国民の深刻な欠乏に対応するために、国際人道機関を通じてブラジルの公的研究機関が製造した医薬品を無償供与する旨を表明するセーハ外務大臣名の声明を発表した。
- (イ) 12 日、セーハ外務大臣は、アルゼンチン、チリ、ウルグアイの外務大臣との連名で、カラカスで発生した国会議員を含む一般市民に対する暴力行為に対して遺憾の意を表明すると共に、平和的な対話及び民主的な手段を通じて意見の対立を解決することを要求する共同声明を発表した。
- (ウ) 14 日、セーハ外務大臣は、ブラジルにおいて、カプリレス・ミランダ州知事等、ベネズエラの反政府勢力の代表と会談を行った。同大臣は、「ブラジルとして、ベネズエラで民主主義が蔑ろにされるのを座視することはできない」と述べ、人道支援の実施を改めて表明した。これに対し、カプリレス州知事は、「ブラジルはテメル暫定政権の発足後、ベネズエラ問題に関して断固たる姿勢をとるようになった」と称賛した。

(3) ロイサガ・パラグアイ外務大臣の訪伯

- (ア) 8日、ロイサガ・パラグアイ外相が、テメル暫定政権下で初めて受け入れる外国の外務大臣として訪伯し、テメル大統領代行表敬、セーハ外務大臣との外相会談等を行った。
- (イ) 大統領代行表敬では、二国間関係及びメルコスールにおける両国の関係の重要性を確認すると共に、特に、国境警備や密輸等の取り締まり等の双方の関心につき意見交換を実施した。
- (ウ) セーハ外務大臣との会談では、①両国国境を流れるパラグアイ川（ブラジル側：マトグロッソ・ド・スル州ポルト・ムルチーニョ市、パラグアイ側：カルメロ・ペラルタ市）間の国際橋梁の建設、②両国間航空サービス（旅客、貨物、機材流通の円滑化）に関する合意文書への署名に加え、パラナ州・パラグアイ間の水路改善、貿易投資促進、生産チェーンの統合、国境をまたぐ不法取引の防止及び撲滅、司法・治安分野での協力、メルコスールに関する課題、地域情勢（ベネズエラにおける政治、経済、人権・人道に係る問題）等につき幅広い協議が行われた。

(4) ペルー大統領選挙

10日、ブラジル政府は、ペルーで行われた大統領決選投票（5日）の結果を歓迎し、クチンスキー候補の勝利に対して祝意と共に、同国との更なる関係促進に向けて協働する意思を表明した。

(5) コロンビア政府・FARC間の停戦合意

- (ア) 22日、ブラジル外務省は、同日発表されたコロンビア政府・FARC間で締結された停戦合意に対する祝意を表明した。
- (イ) 同合意は、コロンビアでの最終的な暴力の終結及び和平を実現するために基礎となるステップであると述べると共に、すべてのコロンビア国民にとってのみならず、すべての地域にとっても慶事であるとして、同合意が完全に実行されるよう、ブラジル政府として、隣国かつ友好国であるコロンビア政府に対し貢献する用意があることを表明した。

(6) イスタンブール・アタチュルク空港でのテロ

- (ア) 28日、ブラジル外務省はトルコ・イスタンブールのアタチュルク空港で発生したテロを非難する声明を発表した。
- (イ) 犠牲者の遺族への哀悼の意、トルコ国民及び政府への連帯の意を表明しつつ、ブラジルはいかなる形でのテロであっても断固拒否する点を強調した。

3. トピックス

(1) ハイブリッド技術紹介イベントの開催

6月6日、19時から22時、在外公館を利用した日本ブランド発信事業として、トヨタ・ド・ブラジルとの共催により、日本大使公邸において、同社が世界的にも強みを有するハイブリ

ッド技術を伯政府関係者及び伯報道関係者に紹介するイベントを実施した。

(2) 平成28年春の叙勲

4月29日（日本時間）に日本政府は2016年春の叙勲受章者を発表したところ、在ブラジル日本国大使館管轄地域からは、元大使館職員であるマリア・デ・ジェズス・メイレーレス氏が、長年に亘る我が国の在外公館業務への功績が認められ、瑞宝双光章が授与された。6月8日、日本大使公邸にて、メイレーレス氏に対する叙勲伝達式が行われた。

(3) 梅田大使のブラジル日本商工会議所懇親昼食会出席

6月17日、梅田大使はサンパウロで開催されたブラジル日本商工会議所懇親昼食会に出席し、「ブラジル政治・経済の現状及び日伯関係」について講演した。

(4) 第2回自衛隊記念日レセプションの開催

- (ア) 2016年6月29日、在ブラジル日本大使館では第2回目の自衛隊記念日レセプションを日本大使公邸にて開催した。冒頭、伯陸軍音楽隊による日ブラジル両国の国歌演奏に続き、梅田邦夫大使及び山内徹防衛駐在官より挨拶を行った。
- (イ) 本レセプションには、タバジャラ・デ・オリヴェイラ外務省防衛部長、ゴラール陸軍中將をはじめ、ブラジル連邦政府、海・陸・空軍及びブラジリア連邦区政府の関係者、各国大使館の駐在武官、サンパウロの日系社会代表など、約240名の方々に参加頂いた。
- (ウ) 会場では、自衛隊の防衛交流・協力等をパネル展示し、日本企業による装備品等の展示を行った。また、梅田大使による日ブラジル防衛交流功労者（ヒカルド・ヘイス・タヴァレス空軍少将）に対する表彰式も併せて執り行った。レセプションの最後には、協賛日本企業によるギフト抽選会が行われた。本年も盛況であった自衛隊記念日レセプションは、日伯両国の防衛交流の進展を示し、また今後の防衛交流を一層発展させていく機会となった。

(5) サンパウロにおけるジャパン・ハウス第三回運営委員会の開催（在サンパウロ総領事館）

- (ア) サンパウロにおけるジャパン・ハウスの第三回運営委員会（議長：中前隆博在サンパウロ総領事）が在サンパウロ日本国総領事公邸にて開催された。同会合には、今般当地ジャパン・ハウスの名誉館長に就任が決定した駐米大使、財務大臣、環境大臣、UNCTAD事務局長を歴任したルーベンス・リクペロ現FAAP（アルマンド・アルバレス・ペンテアド財団）経済学部長と運営委員会に初めての出席となるジーコ元サッカー日本代表監督が出席した。
- (イ) 本会合では、当地においてジャパン・ハウスの事業運営を担う事務局より、ジャパン・ハウスの事業計画に関するプレゼンテーションが実施され、アンジェラ・平田事務局長、マルセロ・ダントス企画局長、ネリー・カイシェッタPR局長、ファビオ・ラウジージョイベント局長、また東京リエゾンである電通金子イベント&スペース・デザイン局部長が、順次コンセプト・コンテンツ・PR戦略・事業戦略・運営計画・今後のスケジュール、

また当地 7 月に開催予定の日本祭りへの出展概要につき説明を行った。

- (ウ) 事務局からのプレゼンテーションを受け、各運営委員会から各々のバックグラウンドを踏まえた多種多様な意見が出され、議論は多いに盛り上がった。ジーコ元サッカー日本代表監督は、自身の日本滞在の経験を踏まえながらジャパン・ハウスへの協力に前向きなコメントがなされ、リクペロ名誉館長からも、ブラジルにまだ知られていない「真の日本」を発信するための協力を惜しまない旨コメントがあった。
- (エ) 当地ジャパン・ハウスは、外務省と業務委託契約を締結した株式会社電通を中心としたコンソーシアムと、当地における事業運営を担う事務局を中心に、平成 29 年 3 月の開館を目指す。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

巡回展「武道の精神展」(クリチバ)

日時：7月1日(金)～24日(日)

場所：パラナ州クリチバ市 パラナ博物館

内容：日本の武芸・武術の歴史の中で用いられてきた武具類(弓具、刀剣、甲冑等)を展示します。

ピウン日本移民60周年記念日本文化展(リオグランデドノルテ州)

日時：7月4日(月)～8日(金)

場所：ナタル市 SEBRAE (ブラジル零細小企業支援サービス)

内容：ナタル近郊に所在するピウン移住地への日本人入植60周年を記念して日本文化展が開

催される。式典は7月7日（木）に予定されている。

第2回サンタカタリーナ日本祭り「七夕祭り」（フロリアノポリス）

日時：7月8日（金）～9日（土）

場所：サンタカタリーナ州フロリアノポリス市 クルス・ソウザ宮

内容：サンタカタリーナ州フロリアノポリス市において、七夕飾りの展示や伝統的な盆踊り・和太鼓などの日本文化紹介を実施する。

第19回サンパウロ日本祭り（サンパウロ）

日時：7月8日（金）～10日（日）

場所：サンパウロ・エキスポ会場

内容：ブラジル日本人都道府県人会連合会が主催する日本文化、郷土料理の紹介イベント。ブラジルにおいて開催される日本祭りとしては最大規模のものの一つで、リオ五輪開催を8月に控える今年のテーマは「スポーツと健康」。外務省（在サンパウロ総領事館）ブースでは、日本政府が推進する「Sport for Tomorrow」事業の一環として、柔道ワークショップ・デモンストレーションを行う。日本政府からは他にも、農林水産省、JNTO、JETRO、JICA、国際交流基金などの各機関も昨年に引き続き展示を行い、本年は文部科学省も出展する。また、来年度開設予定のジャパン・ハウス・サンパウロのブースでは、建物に使用される素材（和紙やひのきなど）等施設概要の一部を紹介する。

Hilty&Bosch・Reatmo 公演（サンパウロ）

日時：①7月9日（土）～10日（日）

②7月12日（火）

場所：①第19回日本祭り Rod. Imigrantes km 1,5 São Paulo-SP

②サンパウロ美術館ホール（MASP）Avenida Paulista,1578-Sao Paulo

内容：日本からダンスグループのHilty&BoschとボイスパーカッションのReatmoを招へいし、ダンス公演を実施する。

<美術展>「コンテンポラリーの出現・日本の前衛美術 1950-1970」（リオデジャネイロ）

日時：7月14日（木）～8月28日（日）

場所：Paço Imperial, Praça Quinze de Novembro, 48 - Centro - RJ

内容：本展は1950年代から70年代にかけての日本の前衛美術を紹介する、ブラジル初の展覧会。戦後から高度経済成長期にかけて、1964年東京オリンピックを含む約20年の間に制作された約60点の作品は、「抽象の政治学」「都市」「アートと社会」など5つのキーワードのもとに、展示される。本展のために特別に制作され本展のみで展示される作品も含まれる。

<映画上映>中平康監督特集（リオデジャネイロ・サンパウロ）

日時：①7月27日（水）～8月1日（月）（リオデジャネイロ）

②8月3日（水）～8月8日（月）（サンパウロ）

場所：①Centro Cultural Banco do Brasil Rio de Janeiro, Rua Primeiro de Março, 66 -

Centro - RJ

②Centro Cultural Banco do Brasil São Paulo, Rua Alvares Penteado, 112- Centro
-SP

内容：第1回東京五輪（1964年）開催当時に活躍していた巨匠たちの中でも、多様な映画手法を積極的に用い、スピーディーなテンポで前衛的かつ娯楽的作品を数多く生み出した中平康監督の作品を、ブラジルで初めて特集上映する。

＜コンサート＞日本ブラジル共同制作ポップスコンサート「上を向いて歩こう～Olha pro céu～」(リオデジャネイロ)

日時：7月29日（金）、30日（土）

場所：VIVO RIO, Av. Infante Dom Henrique, 85 - Parque do Flamengo - RJ

内容：2016年リオ・デ・ジャネイロ オリンピック・パラリンピックの開幕に先立ち、日本ブラジル共同制作ポップスコンサート「上を向いて歩こう～Olha pro céu～」をリオデジャネイロにて実施する。

日本からはマルシア、東京スカパラダイスオーケストラの2組が、ブラジルからは、実力派として高い人気を誇る歌姫Vanessa Da Mataとラップ界を代表するEmicidaが加わり、日本とブラジルを跨ぐ音楽の架け橋を実現する。

「日本の夜（邦楽演奏）」(アマゾナス州マナウス市)

日時：8月2日（火）

場所：アマゾナス劇場

内容：マナウス「風河火山（和太鼓）」、サンパウロ「赤堀勇三（三味線）」、ベレン「琴の会」がアマゾナス劇場で公演を行う。※日本五輪サッカー代表応援イベント。

（2）ブラジル渡航情報

（ア）外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

（イ）ブラジル渡航情報

①危険情報

5月18日付で内容を改訂したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）

- ・ エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・ パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・ リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspotthazardinfo.asp?id=259>

②安全対策基礎データ

主要各州，都市毎の犯罪発生状況，防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え，査証，出入国審査や大使館，総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=259>

③テロ・誘拐情勢

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror.asp?id=259>